









決算を活用するための	
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div style="text-align: center;"> <h1 style="margin: 0;">地方公会計改革入門</h1> [e-ラーニング] </div> </div>	
※ お申込みの際には必ず「メールアドレス」をご記入ください。	
 学習期間：1か月 （在籍期間2か月）	1 なぜ新たな財務会計が必要なのか？ 1. 公会計改革と自治体 2. 決算数値の活用：性質別歳入・歳出の突合せ
 教材構成：DVD2枚／テキスト1冊／Web添削1回	2 複式簿記の導入はなぜ必要か？ 3. 複式簿記の役割
 受講料：8,640円 （消費税8%を含みます）	3 財務書類とは何か？ 4. 財務書類とは何か 5. 財務書類を用いた自治体経営
 編集：ネットスクール株式会社	4 ここがポイント！統一的な基準 6. 資産評価、固定資産台帳整備他
 ねらい： 公会計決算の“作り方”に関する類書は発刊されていますが、“使い方”に関するものはあまりありません。本コースは《活用するための公会計》をテーマに、テキストを確認しながらDVDで講義を聴くスタイルのコースです。	<small>※教材制作等の都合により、講座名称や内容、カリキュラム、開講状況など変更になる場合があります。</small>
 特 色： ●決算情報を用いた自治体財政分析の専門家、千葉大学人文社会科学研究所・大塚教授*による最新情報を基にした講義 (*総務省「地方公共団体の財政分析に関する調査研究会」委員、同「地方財政の健全化及び地方債制度の見直しに関する研究会」などを歴任。著書『日本の会計社会』『政府と非営利組織の会計』『公共経営の変容と会計学の機能』など多数。公会計に関する講義も数多くこなす。)	■動作環境 ●DVD-VIDEOの再生が可能なパソコン ●DVDプレイヤー等 ●Windows 7/8.1/10 対応 ●Internet Explorer9 以上推奨 ●音声再生機能 ●CPU：CeleronD 2GHz 以上推奨 ●メモリ：512MB 以上推奨 ●ブロードバンド回線（ADSL 以上）推奨
 一般社団法人 日本経営協会 / ネットスクール株式会社	